

新人監督官を対象に大規模工場研修を実施 群馬局の同期も参加しました

令和5年4月採用の新任労働基準監督官を対象に、4月下旬に(株)小松製作所栃木工場の協力を得て、大規模工場の研修を実施しました。

同工場では、フォークリフトや建設機械の製造を行っています。



コマツ製建設機械やフォークリフト（同社 HP より）

研修では、フォークリフトや建設機械の組み立てラインなどを見学するとともに、「安全道場」にて、保護具の大切さを体感し、粉じん爆発をはじめ労働災害の再現や疑似体験を行うとともに、最新のVR(バーチャルリアリティシステム)を使用したVR空間における労働災害を体験しました。

参加した研修生は、熱心に担当者の方からの説明に耳を傾け、労働災害の怖さを実感し、これを防止する必要性を理解できたのではないのでしょうか。

また、今回の研修では、栃木労働局だけではなく、お隣の群馬労働局の新任労働基準監督官も参加しました。初めて他県の同期と会い、親交を深めるとともに、情報交換することができました。



工場の概要について説明を受けました。

(次ページに続く)

説明後、工場内で、フォークリフトや建設機械の組み立てを見学しました。その後、安全道場に到着。

過去に工場で発生した災害を風化させず、また、二度と起こさない決意がここにあります。



保護具の重要性を体感するコーナーです。



まずは、錘に触ってみて硬さや重さ確かめます。以外と重いようです。



安全靴が挟まれています。つま先は安全靴で守られています。

次に、ヘルメットに低速で錘を落とします。ヘルメットの必要性がよく理解できます。



粉じん爆発の再現コーナーです。



目の前で、粉じん爆発を再現。一瞬炎が上がり、「ボン」という爆発音が響きました。思わず、みんなのけぞりました。

(次ページに続く)

グラインダー(研削砥石盤)の危険性を体験するコーナーです。

使い方をあやまるとコントロールできなくなり、振り回されてしまいます。



VR 危険体感ブースです。



ベルトコンベアに手を挟まれる災害をVRで体験しました。

労働災害の経験はVRの中だけにしたいものです。



群馬の同期と記念撮影



ご協力いただいた株式会社小松製作所栃木工場のみなさまに感謝申し上げます。